

社会資本整備におけるライフサイクル・マネジメントの導入

計画決定プロセスにおける環境の内在化

事業の構想及び計画段階(計画決定プロセス)において、環境の保全・再生・創造の観点等から総合的な評価を実施

【平成16年度に仕組みの検討、平成17年度から試行的導入】

グリーン・バンキング・システムの構築等環境の再生・創造を行う社会資本整備の推進

湿地、干潟、良好な樹林地などの再生技術の確立

再生された環境を管理する技術の確立

効果的な自然環境の再生・創造

公共施設空間を活用した緑化を計画的に進めること等により、一定のエリアにおいて可能な限り事業の実施に伴う緑地の減少をおこなわないための仕組み(グリーン・バンキング・システム)を構築 【平成16年度より手法の検討】



様々な事業で公共施設空間活用した緑化を計画的に推進

建設工事のゼロエミッション化

直轄工事においては、グリーン購入により、リサイクル材の積極的活用を促進

建設混合廃棄物の削減や、建設発生木材・建設汚泥等、遅れている分野でリサイクルを促進



建設廃棄物の最終処分量ゼロ

アセットマネジメントの導入

総合的な資産管理手法(アセットマネジメント)の導入

公共施設の長寿命化

環境負荷の低減

事業全体のライフサイクルや広域的な観点から、

環境の保全・再生・創造を内在化した取組を進めます